

TEAC

第67期 報告書

2014年4月1日～2015年3月31日



ティアック株式会社

証券コード：6803



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2015年3月31日をもちまして、第67期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

英 裕治

Hanabusa Yuji

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Y. Hanabusa', written over a diagonal line.

当期業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税率引上げ後の個人消費の低迷による影響があったものの、雇用・所得環境改善傾向が続く中で、原油価格下落の影響もあり、緩やかな回復基調が続いています。世界経済については、米国の金融政策正常化に向けた動きの影響や、欧州、中国やその他新興国経済の先行きなどに注意が必要ですが、全体的には緩やかに回復している状況であります。

このような状況の中で当社グループは、事業の選択と集中に向け、国内における光ディスクドライブ(ストレージデバイス事業)の譲渡を行いました。音響機器事業では、オンキヨー株式会社及びGibson Brands, Inc.との業務提携による新たなビジネスの

創出を目指し、海外販売体制の再構築、マーケティングの強化、新製品の共同開発を進めております。また、情報機器事業では、当社のコア技術に基づいた事業カテゴリーでの成長を目指しております。当連結会計年度におきましては、消費増税の影響により個人消費の低迷が続き、また、前期末に通話録音機器(ボイスロギング事業)を、2014年7月末にはストレージデバイス事業を譲渡したことなどにより、売上高は前期と比較して減少しました。一方、販売費及び一般管理費は前期に行った米国社の構造改革等により削減されましたが、米国における大口得意先からの受注減、米国西海岸港湾ストによる納品遅れの影響等による音響機器の販売不振、急激な円安による仕入コストの上昇もあり、営業損失となりました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は203億2千8百万円（前期比9.4%減）、営業損失は2億7千万円（前期営業利益3億9千5百万円）、経常損失は6億8千9百万円（前期経常利益3千万円）となりました。また、光ディスク装置の価格カルテル訴訟等に関する訴訟損失引当金繰入額9億8百万円などを計上したことにより、当期純損失は18億3千1百万円（前期当期純損失2億4千8百万円）となりました。

以上のような状況をうけて、配当につきましては、当期純損失を計上する結果となりましたことから、誠に遺憾ながら、配当を見送らせていただくことといたします。

株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

次期の業績見通しについて

音響機器事業は、Gibson Brands, Inc. 並びにオンキヨー株式会社との提携によるシナジーを最大限追求

し、また、プロ向けのB to B事業にリソースを重点配分することで、次期は黒字化を目指します。

情報機器事業は、通話録音機器（ボイスロギング事業）とストレージデバイス事業の譲渡により、事業の選択と集中は完了しました。これにより、航空機搭載記録再生機器、計測機器及び医用画像記録機器の3事業に集中して、事業成長を目指します。

2016年3月期は国際会計基準（IFRS）を適用し、連結売上収益は215億円、営業利益3億円、親会社の所有者に帰属する当期利益5千万円を予想しております。（日本基準では、連結売上高215億円、営業利益4億円、経常利益1億円、当期純利益5千万円であります。）

全グループ社員一丸となって次期の業績見通しの達成に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

連結業績ハイライト

		第64期 2012年3月期	第65期 2013年3月期	第66期 2014年3月期	第67期 2015年3月期
売上高	(百万円)	26,696	22,236	22,444	20,328
営業利益	(百万円)	338	693	395	△270
経常利益	(百万円)	19	351	30	△689
当期純利益	(百万円)	89	△323	△248	△1,831
1株当たり当期純利益	(円)	0.31	△1.12	△0.86	△6.36
総資産	(百万円)	19,637	19,619	17,582	15,445
純資産	(百万円)	3,790	4,243	3,678	3,202

音響機器事業

62.4%

売上高 12,677 百万円
(前期比 5.3%減)

営業損失 △ 504 百万円
(前期営業利益 217 百万円)



Reference 501 シリーズ
D/A コンバーター, プリメインアンプ

高級AV機器（ESOTERICブランド）は、株価上昇に連動して高級品の市況が活況を呈し、スーパーオーディオCDプレーヤーの新製品や高額スピーカーが好調に推移しました。また、輸出はアジア市場、特に中国において年間を通じて好調を維持しました。しかしながら、当期はBtoBのドライブメカの販売を終息したことで前期と比較して減収減益となりました。

一般AV機器（TEACブランド）は、レコード復活のブームを追い風に一体型レコードプレーヤーシステムや単品ターンテーブルが大きく伸長しました。また、ストラテジックパートナーであるオンキヨー株式会社との販売代理提携や同社向けOEMは堅調に推移しましたが、前期と比較して、主に国内市場が円安による仕入コスト増や消費増税後の中級機オーディオの市況悪化の影響を受け、全体としては減収、赤字幅が拡大しました。

音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）は、楽器市場向け、リニアPCMレコーダー、マルチトラックレコーダー（DIGITAL PORTASTUDIO）の販売は堅調に推移しましたが、USBオーディオインターフェイスがラインナップの変更による製品数減少と新製品の導入遅れにより、販売が落ち込む結果となりました。設備市場においては、ソリッドステートレコーダー、CDプレーヤーを始めとして安定した需要に支えられ販売は伸長しましたが、放送局向けのソリッドステートレコーダー、CDプレーヤーが、特に国内において大型案件の延期や設備更新の遅れにより前期を大きく下回る販売となりました。デジタル一眼レフカメラ用リニアPCMレコーダーの販売は新製品の導入もあり伸長しました。輸入商品を含めた国内販売は円安の影響によるコスト高が販売と利益を圧迫し、結果として、音響機器事業全体では、前期と比較して減収、営業赤字となりました。

売上高
20,328

- 高級 AV 機器
- 一般 AV 機器
- 音楽制作
オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC

TEAC

TASCAM

情報機器事業

32.0%



メディカルビデオレコーダー

売上高 6,515 百万円
(前期比 12.8%減)

営業利益 215 百万円
(前期比 99.5%増)

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録機器
- 計測機器
トランスデューサー
データレコーダー
- ソリューションビジネス
- 介護支援個別ケアシステム
- 産業用光ドライブ

オリジナルブランド

TEAC

航空機搭載記録再生機器は、保守パーツの売上が好調に推移しましたが、主要製品に関して前期の需要増が一段落したことの影響で減収となりました。

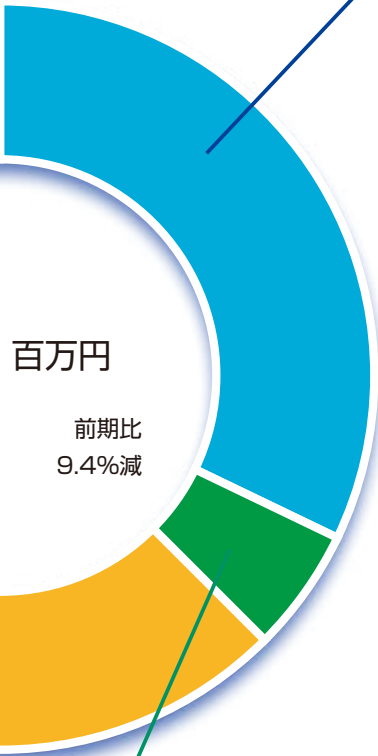
計測機器はデータレコーダー（WX-7000）が鉄道、重工業、自動車各分野へ通期で好調に推移、センサーに関しましては新製品のデジタル指示計が新規顧客の開拓に貢献し、好調に推移しました。

医用画像記録機器は新製品の手術画像用レコーダーが発売以来好調に推移しましたが、国内での消化器内視鏡向け記録機器の販売が伸びずに低調に推移しました。

ソリューションビジネスはほぼ前期並みと堅調に推移しました。

ストレージデバイス事業は事業譲渡により減収となりました。

この結果、情報機器事業全体では、事業譲渡などの「事業の選択と集中」により減収となりましたが、事業の効率化、コア事業が好調に推移したことにより増益となりました。



その他事業

5.6%

売上高 1,134 百万円
(前期比 28.3%減)

営業利益 19 百万円
(前期比 72.8%減)

- EMS 事業

連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

	当期 2015年3月31日現在	前期 2014年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	11,746	13,092
現金及び預金	2,831	3,180
受取手形及び売掛金	3,988	5,507
商品及び製品	2,137	2,635
原材料及び貯蔵品	1,574	1,165
前払費用	283	259
繰延税金資産	21	34
未収入金	881	293
その他	78	82
貸倒引当金	△ 51	△ 66
固定資産	3,699	4,490
有形固定資産	2,593	2,504
無形固定資産	614	551
投資その他の資産	491	1,434
資産合計	15,445	17,582

	当期 2015年3月31日現在	前期 2014年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	5,598	5,968
支払手形及び買掛金	1,629	1,461
短期借入金	2,000	2,200
1年内返済予定の長期借入金	82	83
リース債務	84	59
未払金	247	297
未払費用	906	1,094
未払法人税等	60	61
繰延税金負債	-	5
賞与引当金	212	242
製品保証引当金	114	146
返品調整引当金	81	97
その他	180	217
固定負債	6,644	7,935
負債合計	12,243	13,904
■ 純資産の部		
株主資本	6,611	7,908
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	306	306
利益剰余金	423	1,711
自己株式	△ 118	△ 109
その他の包括利益累計額	△ 3,475	△ 4,291
少数株主持分	66	61
純資産合計	3,202	3,678
負債及び純資産合計	15,445	17,582

Point 1 連結貸借対照表

<総資産> 受取手形及び売掛金の回収による減少、在庫削減による商品及び製品の減少等により流動資産が減少し、総資産は前期末に比べ12.2%減となりました。

<純資産> 為替の円安に伴う為替換算調整勘定の増加、退職給付に関する会計基準等の適用に伴う利益剰余金の増加がありましたが、当期純損失の計上等による利益剰余金の減少があり、前期末に比べ13.0%減となりました。

Point 2 連結損益計算書

<当期純利益>

光ディスク装置の価格カルテル訴訟等に関する訴訟損失引当金繰入額、国内子会社の人員削減に伴う特別退職金等を特別損失に計上したことにより、当期純損失1,831百万円を計上いたしました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当期における主な内訳は、プラス要因として回収に伴う売上債権の減少額1,693百万円、マイナス要因としては退職年金基金へ1,000百万円の特別拠出を行ったこと等による退職給付に係る負債の減少額1,383百万円であります。

連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当期	前期
	2014年4月1日～ 2015年3月31日	2013年4月1日～ 2014年3月31日
売上高	20,328	22,444
売上原価	12,540	13,088
売上総利益	7,787	9,355
販売費及び一般管理費	8,058	8,960
営業利益又は営業損失 (△)	△ 270	395
営業外収益	105	109
営業外費用	524	475
経常利益又は経常損失 (△)	△ 689	30
特別利益	101	866
特別損失	1,176	708
税金等調整前当期純利益 又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△ 1,765	188
法人税、住民税及び事業税	51	136
法人税等調整額	13	297
少数株主損益調整前 当期純損失 (△)	△ 1,830	△ 245
少数株主利益	1	3
当期純損失 (△)	△ 1,831	△ 248

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当期	前期
	2014年4月1日～ 2015年3月31日	2013年4月1日～ 2014年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 582	366
投資活動による キャッシュ・フロー	267	1,490
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 389	△ 2,455
現金及び現金同等物に 係る換算差額	353	166
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 350	△ 432
現金及び現金同等物 期首残高	3,175	3,608
現金及び現金同等物 期末残高	2,825	3,175

連結株主資本等変動計算書 (2014年4月1日～2015年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数 株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	6,000	306	1,711	△ 109	7,908	39	△ 3,468	△ 862	△ 4,291	61	3,678
会計方針の変更による累積的影響額			543		543					3	547
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,000	306	2,254	△ 109	8,452	39	△ 3,468	△ 862	△ 4,291	65	4,226
当期変動額											
当期純損失 (△)			△ 1,831		△ 1,831						△ 1,831
自己株式の取得				△ 8	△ 8						△ 8
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						△ 30	730	114	815	1	816
当期変動額合計	—	—	△ 1,831	△ 8	△ 1,840	△ 30	730	114	815	1	△ 1,023
当期末残高	6,000	306	423	△ 118	6,611	9	△ 2,737	△ 747	△ 3,475	66	3,202

貸借対照表 (要約) (当期 2015年3月31日 現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	7,334	流動負債	5,944
現金及び預金	1,850	支払手形	363
受取手形	349	買掛金	524
売掛金	2,473	短期借入金	4,042
商品	797	1年内返済予定の長期借入金	82
原材料	545	リース債務	29
前払費用	142	未払金	221
関係会社短期貸付金	430	未払費用	317
未収入金	1,105	未払法人税等	26
その他	2	前受金	16
貸倒引当金	△ 361	預り金	23
固定資産	9,318	賞与引当金	153
有形固定資産	1,846	製品保証引当金	57
無形固定資産	136	返品調整引当金	53
投資その他の資産	7,335	未払消費税等	28
資産合計	16,653	その他	1
		固定負債	5,523
		負債合計	11,468
		純資産の部	
		株主資本	5,175
		資本金	6,000
		資本剰余金	306
		利益剰余金	△ 1,013
		自己株式	△ 118
		評価・換算差額等	9
		純資産合計	5,185
		負債及び純資産合計	16,653

損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当期 2014年4月1日~ 2015年3月31日
売上高	13,910
売上原価	8,737
返品調整引当金繰入額	△ 5
売上総利益	5,178
販売費及び一般管理費	5,622
営業損失 (△)	△ 443
営業外収益	170
営業外費用	263
経常損失 (△)	△ 537
特別利益	149
特別損失	1,262
税引前当期純損失 (△)	△ 1,651
法人税、住民税及び事業税	△ 6
当期純損失 (△)	△ 1,644

株主資本等変動計算書 (2014年4月1日~2015年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等 その他 有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 その他 資本剰余金	利益剰余金		自己株式		
			自己株式	株主資本 合計			
当期首残高	6,000	306	95	△ 109	6,293	39	6,333
会計方針の変更による累積的影響額			535		535		535
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,000	306	631	△ 109	6,829	39	6,869
当期変動額							
当期純損失 (△)			△ 1,644		△ 1,644		△ 1,644
自己株式の取得				△ 8	△ 8		△ 8
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△ 30	△ 30
当期変動額合計	—	—	△ 1,644	△ 8	△ 1,653	△ 30	△ 1,683
当期末残高	6,000	306	△ 1,013	△ 118	5,175	9	5,185

ハイレゾファンに ティアックからの新しい提案

TEAC

2015年1月より販売開始した「HA-P90SD」はポータブルヘッドホンアンプと、microSDカードからの音楽再生が可能なオーディオプレーヤーの2つの機能を兼ね備えた、新しいコンセプトのDSD対応ポータブルヘッドホンアンプ/プレーヤーです。最大DSD 5.6MHzやPCM 192kHz/24bitのハイレゾ音源に対応し、緻密な解像度と圧倒的な臨場感を余すところなく再現します。



DSD対応ポータブルヘッドホンアンプ/プレーヤー「HA-P90SD」

機能性と操作性を兼ね備えた 測定用データレコーダーを投入

TEAC

自動車、鉄道など各種輸送機器において、アナログ、映像、CAN、GPS、パルスといった様々な信号を1台のハードウェアで同期記録できる計測用データレコーダー「VR-24」を、2015年3月より販売開始しました。

「VR-24」は、高機能性に加え、タッチパネルコントロールでの簡単な操作性やポータブル性も兼ね備えています。当社は、情報機器分野でも、常にお客様のニーズに合わせた先進的な製品を提供しています。



アナログビジュアルレコーダー「VR-24」

大好評の動画撮影に特化した デジタル一眼レフカメラ用レコーダー

TASCAM

デジタル一眼レフカメラや高画質ビデオレコーダーと組み合わせて使用する高音質4トラックレコーダー「DR-70D」は、新たに内蔵ステレオマイクと4つのXLRマイク入力を搭載することで、アマチュアからプロまで、映画やドラマ制作、フィールド録音など幅広い動画制作のニーズに応えます。発売以来、特に北米では一時出荷が追いつかなくなるなど、世界中で好評を得ています。



カメラ用リニアPCMレコーダー「DR-70D」

音と美を突き詰めた、フラッグシップ・ ステレオパワーアンプを新発表

ESOTERIC

2015年3月より販売開始した「Grandioso S1」は、「Stereo Sound」、「Stereo」、「Audio Accessory」など、著名オーディオ専門誌の栄誉ある賞を多数受賞したフラッグシップライン「Grandioso (グランディオソ)」の系譜に誕生した、新しいステレオパワーアンプです。その比類ない音楽再生能力により、オーディオファンから大きな注目を浴びています。



プリアンプ「Grandioso C1」の組み合わせ

■ 会社の概要

商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
 設立 1953年8月26日
 資本金 60億円
 事業年度 4月1日～翌年3月31日
 代表者 代表取締役社長 英 裕治
 従業員数 単体 294名 連結 981名

国内拠点

ティアック株式会社

本社 [東京都]

EMC センター [埼玉県]

大阪営業所 [大阪府]

名古屋営業所 [愛知県] (2015年6月現在)

エソテリック株式会社 [東京都]

ティアック マニュファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]

MTS 株式会社 [埼玉県]

ティアック オンキヨー ソリューションズ株式会社 [東京都]

オンキヨー & パイオニア テクノロジー株式会社 [大阪府] ※

※持分法適用関連会社

海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]

TEAC MEXICO, S.A. de C.V. [メキシコ]

TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]

TEAC UK LTD. [英国]

TAIWAN TEAC CORPORATION [台湾]

TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]

TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]

DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

■ 役員 (2015年6月19日現在)

代表取締役社長 英 裕治
 取締役 野村 佳秀
 取締役 Henry E. Juskiewicz
 取締役 David Berryman
 取締役 Solomon Picciotto
 常勤監査役 牧野 信明
 監査役 原 琢己
 監査役 坂口 洋二

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

➡ 投資家向け情報



<http://www.teac.co.jp/>

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	289,317,134株
株主数	14,456名

大株主 (上位10名)

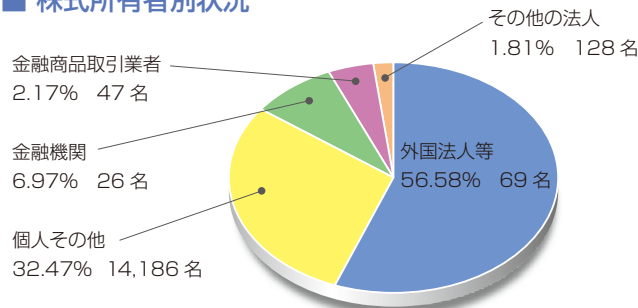
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
Gibson Holdings, Inc.	157,447	54.42
日本証券金融株式会社	3,635	1.26
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.19
オンキヨー株式会社	2,894	1.00
森兼 満	2,419	0.84
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
ティアック取引先持株会	1,589	0.55
明治安田生命保険相互会社	1,541	0.53
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,342	0.46
中野 啓二郎	1,328	0.46

(注) 出資比率は、小数点第3位を四捨五入により表示しています。

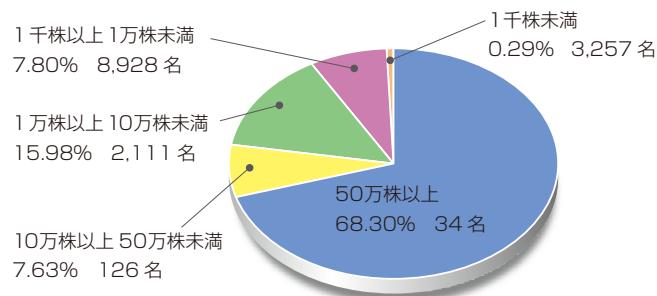
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
単元株式数	1,000株
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う。
公告掲載URL	http://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku.html (ただし、やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

株式所有者別状況



株式所有数別状況



【株式事務に関するご案内】

1. 各種お手続きのお問合せ窓口について

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

第67回定時株主総会決議ご通知

2015年6月19日開催の当社第67回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

1. 第67期（2014年4月1日から2015年3月31日まで）事業報告、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第67期（2014年4月1日から2015年3月31日まで）計算書類の内容報告の件
- 本件は、上記1.2.の内容等をご報告いたしました。

決議事項

第1号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第2号議案 取締役5名選任の件

本件は、原案どおり取締役に英 裕治、野村佳秀、ヘンリー・イー・ジャスキヴィッツ、デビット・ベリーマン及びソロモン・ピチオートの5氏が再選され、それぞれ就任いたしました。

なお、ヘンリー・イー・ジャスキヴィッツ、デビット・ベリーマン及びソロモン・ピチオートの3氏は、社外取締役であります。

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案どおり監査役に原 琢己氏が再選され、就任いたしました。

なお、原 琢己氏は、社外監査役であります。

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。
- 記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地

TEL 042-356-9100（代表）

ホームページアドレス <http://www.teac.co.jp/>

